

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ハビステひおき		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2025年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育開始時にお子さんの発達段階を正確に把握する事(発達評価)が重要であると考えているため、専門機関(病院等)で使用されている評価方法(身体機能テスト・知的機能テスト等)を実施し、妥当性・整合性のあるプログラム提供に努めています。	言語・見る力・身体機能面・社会性などの複数分野での評価を実施し、数値等を元にご家族にお子様の苦手なところ、得意なところのご説明を行っています。	就学相談を受けるお子様には就学相談時に当事業所で実施した評価を教育委員会へ提出させていただき、就学相談時にもご家族と同居させていただきご説明をさせていただいています。
2	PT・OT・STの専門職が多数在籍しているだけでなく、学校や保育の現場を経験しているスタッフも所属しているため、様々な角度で意見を交わした上で、支援プログラムを作成しております。	評価を行う際には専門職による個別での活動を実施し、集団での活動も専門職の意見を取り入れながら活動を実施しております。また、運動面・言語面だけでなく、社会性を育てていくための活動も積極的に行っています。	専門職が中心となって研修を実施しております。専門職から他の職員へも研修を実施し、様々な要素を取り入れた活動を実施できるように企業内研修制度を設けています。
3	児童の苦手なことをスモールステップで取り組み、楽しみながら活動を行えるよう、活動内容を工夫しています。	身体を大きく動かす運動の時間、言語や箸・ハサミなどの道具の使い方の練習を行う机上の活動の時間、絵本の読み聞かせなどで活動内容を構成し、遊びの中で楽しみながら取り組めるように活動内容を考え取り組んでいます。	当事業所で児童が取り組むことができた内容等をご家族にメールにて報告しております。また、お家でも取り組める活動をSNSなどで情報提供したり、ご家族に対しては面談時にお伝えしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会のように、ご家族が一堂に会してコミュニケーションを取る会の定期的な開催の実績がありません。	他地域にわたってご利用をいただいているため、一堂に会す場合も実施場所等で苦慮する部分がありました。	今年度は就学児相談会としてご家族の方が一堂に会す場を設けることができました。会の中で、ご家族同士で就学に対しての不安や心配事、地域の小学校の様子などを共有することができました。
2	地域交流のためのイベントの実施ができておりません。	活動時間が1時間という中で、地域の方との交流というイベントの実施が難しいと考えています。	児童が地域の方との交流を行えるように、地域の施設に出向くなどのイベントを活動の中で取り入れていきたいと思っています。
3	様々な活動を行っていたり、お子様の様子も文書ではお伝えしておりますが、周知が不十分なところがあります。	面談時に個別の相談でアドバイスを行ったり、活動の中で実施していることなどを文書でお伝えしております。しかし、イベントや研修会等でのアドバイスを行う場などは設定ができていません。	SNSなどを活用して、ご家庭で取り組める内容等は伝達しておりますが、法人として投稿しているものが主のため別物と捉えられてしまうところがあり、周知が不十分なところがあります。ご家族の方に伝わりやすい形を意識して、周知を行って参ります。